

地域通貨を活用した環境ネットワークの構築に関する包括的研究

題目

地域環境通貨における環境負荷削減と経済的インセンティブの関係に関する研究

著者

早稲田大学 吉田徳久 永田勝也 永井祐二

1. 研究目的

本研究では市民や企業、行政が参加しての環境改善の手法として、地域通貨の手法を活用した新しい環境政策ツールとして地域環境通貨を提案し、具体的な環境負荷の削減と繋げたシステムとして確立すること。また、その取引に ICT を活用することで、通貨の取引履歴の情動的な価値を積極的に活用したシステムを開発することに取り組んできた。

本システムは『北九州市民環境パスポート事業』の後継となる『北九州市でいたんポイント事業』の一部の運用システムとして2016年2月から採用されており、新宿区の『新宿区エコ自慢ポイント』の端末として、2016年6月より活用されている。

2. 地域環境通貨システムの継続運用

ていたんポイントは2015年10月より北九州市民環境活動推進協議会のもと運営されており、本研究の成果も反映された形で運用されている。

ポイント付与メニューは、従来は同局内の複数部署で行われてきた、ピークシフトの取り組みである『まちなか避暑』や環境学習などのメニューが付与の対象となっており、市民の環境活動を部局を渡って面的に取り組もうという試みとなっている。また、ポイントの還元は、環境啓発イベント等における抽選が主体であり、ポイント原資を調整可能な運営形態となっている点が注目点である。

本年度は、商店街を巻き込んだポイントシステムとして運用が計画されたほか、対象となるポイントメニューも昨年度より多くなっている。特に食品ロス削減に繋がる「残しま宣言」に対するポイントの導入など、さまざまな3R活動への普及を実現している。

3. さまざまなポイントシステムの普及

地域通貨を巡る情勢として、ここ数年大きな動きとしては、健康・福祉に関するポイントの普及が急速に普及しつつある。確認ができるだけでも現在、90の自治体で何らかの形での健康・福祉に関するポイントが確認できる。主に、自治体が原資の提供者となつての制度設計となっている。

このほかにも、環境に限らず地域の中で、ボランティアや公共活動への参加に対するインセンティブとしての地域ポイントシステムが普及してきている。中でも、本研究としても注目する点は、電力自由化に伴う新電力の利用に対するインセンティブとして、ポイントを発行する事業者が多く存在する点である。

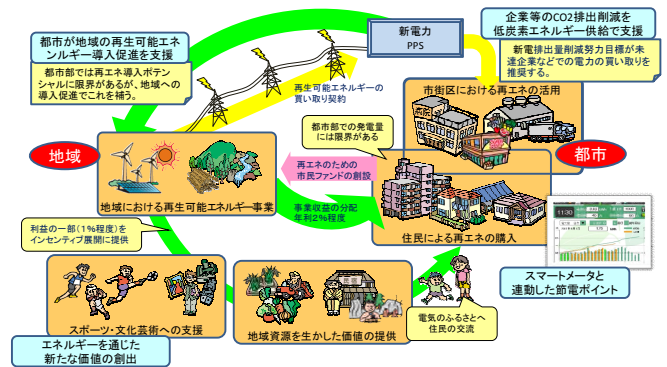


図2 都市と地域をつなぐ再生可能エネルギーと地域通貨

本研究でも、都市と地域の連携で豊かになるスマートコミュニティの提案の中で、再生可能エネルギーを地域で発電して、都市のユーザーに売電する際に、その一部の収益を地域環境通貨として運用し、電力だけでなく地域の農産品などの商品やサービスを流通させようという取り組みを提唱してきているが、そうした再生可能エネルギーの取引を巡る地域通貨が実際に運用されはじめています。

ただし、その多くが地域通貨としての限定的な用途に対するポイントではなく、全国で共通で使えるポイントでの運用のため、ダイレクトに再生可能エネルギーを発電する地域と都市との間で閉じた通貨のループにはなっていない。

本研究の指向する環境ポイントは、あくまでもその基礎理念は地域通貨であり、地域・目的に限定した価値体系を構築することで、対象となる取り組みの活性化を促そうというものである。今後、新電力のインセンティブとして地域通貨としてのインセンティブに取り組む地域を対象として、その制度設計を研究していく予定である。

4. 地域IDインフラとしての普及

本システムはICカード (Felica) のIDmを活用したものである。ICカードは、交通系に限らずFelicaIDが搭載されている電子マネーカードや会員証などでも活用でき、一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会の調査(2016年6月)では、交通系のICカードで55%の普及率を超え、電子マネーカードも同じく55%で、個人が一枚は何かしらのカードをもつ普及率となりつつある。

現在、地域通貨の運用システムとして、仮想通貨の技術(ブロックチェーン)による決済を取り入れる取り組みが広がっているが、これらは個人がスマートフォンを運用する必要があり、社会インフラとしての普及は、ITリテラシーによる格差を生じるため、現時点では難しい。本研究では引き続き、ICカードによる地域IDインフラの構築に取り組んでいく。

1 環境学習関連施設への来館

●期間:年間 ●来館で1ポイント(1日1ポイント)
 ・環境ミュージアム ・エコタウンセンター ・瀬瀬ビオトープ
 ・白鳥展示館 ・水鏡塔館 ・北九州市ほたる館 ・香月・黒川ほたる館

2 「残しま宣言」応援店での食べきり

●期間:年間 ●食べきり実施で2ポイント(一部店舗)

3 「生ごみ減量」に関する講座等への参加

●期間:年間 ●下記講座への参加で2ポイント
 ・生ごみリサイクル講座(コンポスト化啓発活用講座、地域生ごみリサイクル講座、コンポストアドバイザー養成講座)
 ・生ごみコンポストなんでも相談会 ●リデュースクッキング講座

4 「生ごみ堆肥の回収」事業

●期間:年間 ●回収施設(環境ミュージアム、楽しい株式会社(若松区向洋町))に堆肥を持ち込んでも4ポイント

5 環境関連の講演会等への参加

●期間:年間 ●講演会等への参加で1~4ポイント

6 まちなか避暑地

●期間:7月~9月 ●13時~17時の来館・来店で
 公共施設1ポイント/店舗2ポイント

7 北九州打ち水大作戦

●期間:7月 ●イベント参加で4ポイント

8 省エネ王コンテストへの参加

●期間:7月~8月 ●コンテストへの参加で10ポイント

9 まちなか暖ラン

●期間:12月~3月 ●17時~20時の来店で2ポイント
 (市立図書館は17時~19時の来店で1ポイント)

10 北九州市環境首都検定の受検

●期間:12月 ●検定受検で10ポイント/テストの購入4ポイント

11 鳥がさえる緑の回廊植樹会(若松区普賢地)への参加

●期間:3月 ●市民植樹会参加で4ポイント

ポイント対象となる
 エコ活動は、今後も
 拡大していきます!

(北九州市環境局環境未来都市推進部温暖化対策課 Web サイトより)

図1 ていたんポイントのポイント付与メニュー例